

子ども医療費が 安くなる仕組み

医療費の支払いが
安くすんで助かったね！



でも、どうして
安くなるんだろう？



病院などの**窓口負担が無料**になったり、
安くなったりする仕組み

助成制度が
なかったら
患者が
負担する額

医療費総額

自分たちの納めた
健康保険料や**税金**から
支払われているんだね！



加入している
健康保険制度が支払う額

7割

小学生未満は8割

子ども医療費助成制度が
支払う額※

3割

小学生未満は2割

※自治体によって助成の内容や金額、
条件が異なります

健康保険制度

- ・協会けんぽ
- ・国民健康保険 など

財源

健康保険料

皆様が
納めた

税金

県・市町村

子ども医療費
助成制度



子どもたちの未来のため 今できること



●夜間・休日は#8000のご利用を

夜間・休日にお子様の急な病気やケガで受診するか迷ったときは、「小児救急医療電話相談」をご利用ください。



#8000 または
025-288-2525

詳しくは厚生労働省ホームページを⇒
ご確認ください。



●かかりつけ医を持ちましょう

- 1 かかりつけ医を決めることで医師が日頃の健康状態を把握できるため、病気の予防や早期発見につながります。
- 2 病気や症状、治療法についての確な診断やアドバイスをしてくれます。
- 3 どこにかかったらいいかわからないときも、かかりつけ医に相談すれば適切な医療機関を紹介してくれます。

かかりつけ医を選ぶポイントはこちら

上手な医療のかかり方.jp
(厚生労働省)



●ジェネリック医薬品を選びましょう

- 1 先発医薬品より、研究開発期間やコストが大幅に抑えることができ、お薬の価格が抑えられています。
- 2 先発医薬品と効き目や安全性が同等であることが証明されています。
- 3 薬の形や味が工夫され飲みやすくなっています。

③について、たとえば…

- ・苦みをコーティング
- ・小型化
- ・水なしでも飲める



●はしご受診をやめましょう

同じ病気やケガで複数の医療機関に受診することを「はしご受診」といい、受診のたびに初診料がかかってしまいます。また、同じような検査や投薬を受けることは身体への負担にもなってしまいます。

●受診の際はマイナ保険証を持参しましょう

マイナンバーカードで受診すると、医師が過去のお薬情報や診療情報を確認できるため、重複検査や重複投薬のリスクが少なくなります。

旅行先や災害時でも、薬の情報等が連携されます。



子育て世代の医療費負担を少なくし、子育てを応援するために、子ども医療費助成があります。

医療費の財源は、皆様にお支払いいただいている健康保険料や税金です。限りある医療財源を守り、皆様の負担をできるだけ抑えるために、ご協力をお願いします。

